

是川 「是川縄文の里プロジェクト2021」

実施主体／是川地区振興会
是川団地町内連合会

是川石器時代遺跡の世界遺産登録を契機に、様々な歴史のスポットや美しい景観を堪能できるトレイルコースを開発し、「是川縄文トレイル」を開催。SNSによる情報発信によって県外からの参加者もみられ、季節毎の開催を希望する声もきかれたほか、新たな人材発掘にもつながった。

このほか、是川縄文をモチーフとしたデザインの健診フラッグの作成・掲示や、是川中央公園壁面のペイントも行い、地域住民が豊かに暮らすことができるまちづくりを実践した。



湊高台 「夏祭りの再編とにぎわいファームの開設」

実施主体／湊高台連合町内会

地域の空地を利用して「にぎわいファーム」を開設。年間を通じて、主に連合町内会と子ども会が中心となって活動し、収穫した野菜は夏休みのラジオ体操で子どもたちに配布したり、地域の福祉施設等へ寄付する形で地域へ還元したほか、漬物作り体験も行い、完成した漬物は、地域行事でお振舞いし大好評であった。

感染症拡大の影響により大規模な夏祭りの開催は見送ったが、代替イベントとして、老若男女が安全に楽しめるアトラクションの体験会を実施し、世代間交流・愛着の醸成を図った。



大館 「ふるさと大館」歴史と文化の保存と伝承

実施主体／大館地区連合町内会

地域の歴史・文化財の保存と伝承のため、歴史看板を設置するとともに、八戸工業大学および新井田小学校と連携し「歴史看板マップ」を作成した。

大学生・小学生・地域住民によるフィールドワークを行い、大館地域の歴史への理解を深めた上で、大人用・子ども用2種類の歴史看板マップを作成した。アプリと連動し、音声を聞くことができる仕掛けも施した。

地域においては、これまでの地域活動を見直す好機となり、新たなネットワークの構築や人材発掘につながったほか、自らすすんで地域づくりに参加する住民が増え、大館地区への愛着の醸成に繋がった。



白銀南 「白銀南地区 防犯・防災パワーアップ大作戦」

実施主体／大久保地区連合町内会
白銀台地区連合町内会
岬台地区連合町内会

白銀南中学校や地域関係団体と連携し、地域の防災力の向上に向けた取組を実施した。

夏に行った防災まちあるきは、3連合町内会のエリア毎に中学生と地域住民でチームを編成し、中学生の視点で危険を感じる場所や、災害発生時に役立つ場所等をリストアップした。現在、防災マップを作成中。

「白銀南地区3連合総合防災訓練」では、白銀南中学校にて避難者を受け入れることを想定し、7つのブースを設けて訓練を実施。約400名が参加し、応急措置やAED訓練、段ボールベッドの組立等、真に必要な技術の習得を図った。

